

HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY
JANUARY 1-15, 2006

昨年のカルピスのアミールペプチドに続き、雪印乳業の特保素材 MBP®(Milk Basic Protein)が、海外進出を果たした。米国 GNC (General Nutrition Centers) の女性向けサプリメントシリーズである“Women’s Ultra Mega®”シリーズに採用された。MBP®を配合しない“Women’s Ultra Mega®”の Regular Price \$16.99 (120caps)に対して”BoneDensity”は\$19.99 (120caps)である。MBP®には十分なエビデンスや安全性のデータがあるにもかかわらず、プレミアム価格商品になっていないのは残念である。確かに GNC は北米に 5,000 店舗を有する魅力的な企業では有るが、新規性のある付加価値の高い商品を普及させていくには適切とはいえない。GNC の商品ラインに一原料として取り込まれることで、MBP®の消費者への認知度がどう高まるのか疑問である。また、原料ビジネス、或いはロイヤルティビジネスは一見リスクは低いがリターンも少ない。GNC といえど、1 アイテムで\$10M 以上の売上を稼ぐ商品は皆無であろう。かつてノルウェーの Nutri Pharma 社が特許を有する自社の減量用商品を GNC にライセンスした。最盛期は小売ベースで\$15M 稼ぐ GNC の中でも基幹商品となった。しかし GNC 以外の販路の開拓がうまくいかず、GNC の中でも売上が低減したため、米国市場からの撤退を余儀なくされている。今回のパートナー契約の内容は明らかでないが、独占契約の場合は期間と販路の限定が重要である。

また、米国市場では原料といえどもブランド構築が不可欠である。ブランド付き原料のマーケティング経験がない日本企業がどこまで奮闘できるか、注目したい。或いは原料ビジネスが最適なオプションであったのか、今後の動向から目が離せない。

NEW PRODUCTS

森永製菓、「べにふうき緑茶カプセル」を発売

森永製菓株式会社は、1月23日に発売する「べにふうき緑茶キャンディ」に続き、2月1日より通信販売にて「べにふうき緑茶カプセル」をテスト発売する。森永製菓及び野菜茶業研究所は、2001年より、九州大学、名古屋女子大学、静岡県立大学、東京海洋大学、アサヒ飲料株式会社とともに、「生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業」(独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター)による「コンソーシアム」を形成し、「べにふうき」の茶葉に含まれるメチル化カテキンの基礎研究をはじめ、「べにふうき」を使った製品開発研究を行ってきた。(2005年12月21日 森永製菓 プレスリリース)



ドクターシーラボ、「オルニチン&アルギニン」を発売

株式会社ドクターシーラボは、オルニチンとアルギニンを配合した「オルニチン&アルギニン」を1月23日より発売する。アミノ酸の一種であるオルニチンとアルギニンは、基礎代謝を助け若さと健康を維持するのに役立つと考えられており、米国においてはアンチエイジングとダイエットなどを含め若さの維持に関心の高い人々に支持を受けている成分。さらに、多くのアスリートに愛用されているクレアチンを配合した。(2005年12月25日 ドクターシーラボ プレスリリース)



カネボウ化粧品、美容補助食品「カネボウ DCホワイト」を発売

株式会社カネボウ化粧品は、3月16日に、美容補助食品「カネボウ DCホワイト」を発売する(4粒×60袋 3,990円)。化粧品専門店専用ブランド「トワニー」取り扱い店にて販売し、化粧品による外側からのキレイに加え、カラダの内側からもキレイをサポートしていく。同商品の特長素材である「ディオスコレア(Dioscorea)」は、中南米原産のヤマノイモ科の植物で、現地では昔から美容と健康によい素材として重宝されてきた。欧米では現在でも、ディオスコレア属の植物(呼称:ワイルドヤム)を、加齢による悩みを持つ女性向けのサプリメントに使用している。カネボウ化粧品は、独自研究により「ディオスコレア」の経口摂取による美容効果を発見した。さらに、同商品には、ローヤルゼリー、ビタミンC、 α -リポ酸、アミノ酸の一種であるL-シスチンなどを配合している。(2005年12月26日 カネボウ化粧品 プレスリリース)



カゴメ、植物由来の乳酸菌を配合した乳酸菌飲料「植物性乳酸菌ラブレ」を発売

カゴメ株式会社は、「植物性乳酸菌ラブレ」を3月14日から全国で発売する。「植物性乳酸菌ラブレ」は、京都の伝統的な漬物から発見された植物由来の乳酸菌である“ラブレ菌”を使用した乳酸菌飲料で、同社の動物性乳酸菌(L.カゼイ菌)と比較して、腸内で生きぬく力が非常に強いのが特長である。2月から、女優の吉永小百合さんを起用したテレビ広告を大量投入する予定。2006年2月14日から2006年9月までの広告費は35億円、初年度の販売目標は100億円。(2006年1月6日 カゴメ プレスリリース)



SCIENCE UPDATES

森永乳業、アロエベラの葉肉に含まれる成分の糖尿病予防・改善効果などの研究成果を発表

森永乳業株式会社は、アロエベラの葉肉に含まれる成分に、糖尿病の予防・改善効果があることを明らかにし、この結果を第40回日本成人病(生活習慣病)学会(2006年1月14日より開催/東京都)にて発表する。今回の試験では、糖尿病既往例の無い境界型血糖値症例男性11名を対象に、アロエベラゲルを1日100g、8週間継続摂取させ、摂取期間中の空腹時血糖値、糖化ヘモグロビン値および8週間摂取前後の体内での糖代謝能力の変化を測定したところ、空腹時血糖値および糖化ヘモグロビン値に改善が認められた。(2005年12月27日 森永乳業 プレスリリース)

COMPANY NEWS

博報堂と総合医科学研究所が合併会社設立

株式会社総合医科学研究所と株式会社博報堂は、主として特定保健用食品に関する情報の発信等を行うウェブサイト運営し、これを介してトクホ等の市販後調査やマーケティングリサーチ等を行う会社を合併で設立することに合意した。本合併会社では、総医研と博報堂の特長を融合し、トクホをはじめとする、セルフ・メディケーションの時代に求められる科学的根拠に基づく様々な製品について、その製品の紹介や科学的背景についての情報やデータ等(エビデンス)を発信し、さらに口コミを含めたコミュニティサイトを構築して、消費者が健康に関連した有用な情報を得ることのできる健康総合ウェブサイトを運営する。そして、このウェブサイトを通じて、トクホを販売する食品・製薬企業からの依頼に基づき、ウェブサイトに登録したトクホ利用者から特定の医薬品併用者等を抽出し、医薬品との併用時の安全性および有効性に関する臨床試験の受託ビジネスを行う。さらに商品の持つエビデンスを有効活用したマーケティングやコミュニケーション活動の支援ビジネスを幅広く展開する。(2005年12月19日 博報堂 プレスリリース)

コバショウとケンコーコムが業務・資本提携

小林製薬株式会社の連結子会社であり家庭用品卸事業を展開する株式会社コバショウは、健康食品や医薬品などをインターネットで通信販売するEコマース(以下、EC)サイト「ケンコーコム」を運営するケンコーコム株式会社と、業務提携及び資本提携に関わる基本合意を締結した。この提携により、コバショウは、ECサイト「爽快ドラッグ」を運営する子会社の株式会社創快ドラッグに加え、ケンコーコムとの取引開始によりECサイトにおける取組強化及び売上拡大を目指す。(2005年12月20日 小林製薬 プレスリリース)

カネカ、米テキサス州に建設のコエンザイムQ10の製造販売会社が来年夏に竣工

株式会社カネカが米国に設立したコエンザイムQ10素材の製造販売会社(社名:Kaneka Nutrients L.P. 住所:テキサス州パサディナ市)の工事は順調に進んでおり、ほぼ予定通り2006年夏に完成する見通しである。また国内においては、コエンザイムQ10の旺盛な需要に応えるため、高砂工業所の設備を増強し、年産能力150トンから180トンに引き上げた。予定通り増産設備は完成し、医薬品設備として求められる申請やバリデーション、安全性確認などが終了し、すでに出荷を開始している。(2005年12月22日 カネカ プレスリリース)

ハウス食品と武田薬品が武田食品の飲料・食品事業について提携

ハウス食品株式会社と武田薬品工業株式会社は、武田食品工業株式会社の事業に関して提携することに基本合意した。今回の合意により、武田食品の全事業について分社型新設分割の方法により分割・設立された新会社(社名は未定)の株式のうち、ハウス食品が66%を、武田薬品が34%を取得する。また、18ヶ月間の合併期間満了時に、武田薬品が取得した新会社の株式全て(34%)をハウス食品が取得し、ハウス食品の100%子会社となる予定。ハウス食品は、これまで基幹製品のルウカレー、シチュー、

レトルト、スパイス製品をコア事業とし、飲料・健康食品事業をコアへの育成事業として注力してきた。本提携により、武田食品の C1000 タケダビタミンレモン、C1000 タケダレモンウォーターなど C1000 ブランドを中心とした健康飲料、健康食品、栄養バランス食品など全ての健康食品・健康飲料の製造販売事業を取得することで、同分野の事業領域を確実にコア事業に続く柱として拡大することが可能になる。また、武田食品の持つビタミンを主原料とした飲料・食品の開発技術と、ハウス食品の持つ食品加工技術を融合することで、商品開発力を向上させ、新たな商品戦略を打ち出すことが可能と考えている。(2005年12月26日 ハウス食品・武田薬品工業 プレスリリース)

雪印乳業、米国で骨の健康に寄与する機能素材「MBP」配合商品を発売

雪印乳業株式会社が持つ骨の健康に寄与する機能素材「MBP®」を配合した商品が、2006年1月1日に、米国で初めて商品化された。2004年4月、骨の健康に寄与する機能素材「MBP®」を広く海外に展開するために、主に欧米における「MBP®」ビジネスを目的に、伊藤忠商事株式会社と合併会社「株式会社アイ・エイ・エス」を設立した。この度「アイ・エイ・エス」と米国のサプリメント会社大手である「GNC (General Nutrition Centers, Inc.)」との間で「MBP®」の実施許諾契約が締結され、米国における「MBP®」ビジネスの第一弾として、「MBP®」配合商品『Women's Ultra Mega® Bone Density』が発売された。(2006年1月13日 雪印乳業 プレスリリース)

